

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(県分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	168	世界のウチナーネットワーク強化推進事業	新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-4-(2)-ア① 国内外のウチナーンチュとの絶え間ない交流																																																										
担当部署名	文化観光スポーツ部交流推進課	事業実施(予定)年度 H29 ~ R13 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	III-7																																																										
事業内容	「世界のウチナーンチュの日」が制定されたことを踏まえ、同記念日の定着化に向けた取組みを推進することで、ウチナーネットワークの継承・発展・強化を図る。具体的にはSNSやWEBサイト及び各種メディアを活用した周知広報活動等を展開し、併せて、世界を舞台に活躍するウチナーンチュを招聘したトークイベントや、移民の歴史を題材とした演劇公演及び移民の歴史等に関する出前講座、並びに海外県人会イベントへの芸能指導者派遣等を実施する。																																																													
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)																																																													
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()																																																													
予算額・執行額 【単位:千円】	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>R2年度</td> <td>R2年度(繰越)</td> <td>R3年度</td> <td>R3年度(繰越)</td> <td>R4年度</td> </tr> <tr> <td>(a)当初予算額</td> <td>29,308</td> <td></td> <td>24,913</td> <td></td> <td>290,668</td> </tr> <tr> <td>(b)予算現額</td> <td>22,032</td> <td></td> <td>24,913</td> <td></td> <td>290,668</td> </tr> <tr> <td>(c)増減額(b-a)</td> <td>▲ 7,276</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>(d)前年度繰越額</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>A. 計(b+d)</td> <td>22,032</td> <td>0</td> <td>24,913</td> <td>0</td> <td>290,668</td> </tr> <tr> <td>B. 執行済額</td> <td>20,549</td> <td></td> <td>24,510</td> <td></td> <td>290,592</td> </tr> <tr> <td> うち交付金充当額</td> <td>16,439</td> <td></td> <td>19,608</td> <td></td> <td>232,473</td> </tr> <tr> <td>C. 次年度繰越額</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>執行率(%) (B/A)</td> <td>93.3%</td> <td>#DIV/0!</td> <td>98.4%</td> <td>#DIV/0!</td> <td>100.0%</td> </tr> </table>		R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	(a)当初予算額	29,308		24,913		290,668	(b)予算現額	22,032		24,913		290,668	(c)増減額(b-a)	▲ 7,276	0	0	0	0	(d)前年度繰越額						A. 計(b+d)	22,032	0	24,913	0	290,668	B. 執行済額	20,549		24,510		290,592	うち交付金充当額	16,439		19,608		232,473	C. 次年度繰越額	0	0	0	0	0	執行率(%) (B/A)	93.3%	#DIV/0!	98.4%	#DIV/0!	100.0%	予算の状況の説明 本事業はH29年度からスタートしており、執行状況も毎年度90%超で順調に執行している。令和4年度は、第7回世界のウチナーンチュ大会開催事業費を計上したことから、総額が大幅増となっている。
	R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	R3年度(繰越)	R4年度																																																									
(a)当初予算額	29,308		24,913		290,668																																																									
(b)予算現額	22,032		24,913		290,668																																																									
(c)増減額(b-a)	▲ 7,276	0	0	0	0																																																									
(d)前年度繰越額																																																														
A. 計(b+d)	22,032	0	24,913	0	290,668																																																									
B. 執行済額	20,549		24,510		290,592																																																									
うち交付金充当額	16,439		19,608		232,473																																																									
C. 次年度繰越額	0	0	0	0	0																																																									
執行率(%) (B/A)	93.3%	#DIV/0!	98.4%	#DIV/0!	100.0%																																																									
活動目標(指標)及び進捗状況	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">R4活動目標(指標)</th> <th colspan="4">進捗状況</th> </tr> <tr> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">①世界で活躍するウチナーンチュのライフワークや貴重な経験を学ぶことのできる若者向けのシンポジウムの開催</td> <td>目標</td> <td>シンポジウムの開催</td> <td>シンポジウムの開催</td> <td>シンポジウムの開催</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>シンポジウムを開催した</td> <td>シンポジウムを開催した</td> <td>シンポジウムを開催した</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">②各種広報媒体を活用した「世界のウチナーンチュの日」の広報活動の実施</td> <td>目標</td> <td>広報活動の実施</td> <td>広報活動の実施</td> <td>広報活動の実施</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>広報活動を実施した</td> <td>広報活動を実施した</td> <td>広報活動を実施した</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">③「世界のウチナーンチュの日」に関連して海外県人会が主催するイベントに、沖縄からの芸能指導者を派遣する。</td> <td>目標</td> <td>指導者の派遣</td> <td>指導者の派遣</td> <td>指導者の派遣</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>指導者を派遣した</td> <td>指導者を派遣した</td> <td>指導者を派遣した</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">④学校等における出前講座の実施及び講座等の実施を担う講師の養成</td> <td>目標</td> <td>出前講座の実施及び講師の養成</td> <td>出前講座の実施及び講師の養成</td> <td>出前講座の実施及び講師の養成</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>出前講座及び講師の養成を行った</td> <td>出前講座及び講師の養成を行った</td> <td>出前講座及び講師の養成を行った</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">⑤第7回世界のウチナーンチュ大会の開催 プロモーション活動の実施</td> <td>目標</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>プロモーション活動の実施</td> </tr> </table>	R4活動目標(指標)	進捗状況				R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	①世界で活躍するウチナーンチュのライフワークや貴重な経験を学ぶことのできる若者向けのシンポジウムの開催	目標	シンポジウムの開催	シンポジウムの開催	シンポジウムの開催	実績	シンポジウムを開催した	シンポジウムを開催した	シンポジウムを開催した	②各種広報媒体を活用した「世界のウチナーンチュの日」の広報活動の実施	目標	広報活動の実施	広報活動の実施	広報活動の実施	実績	広報活動を実施した	広報活動を実施した	広報活動を実施した	③「世界のウチナーンチュの日」に関連して海外県人会が主催するイベントに、沖縄からの芸能指導者を派遣する。	目標	指導者の派遣	指導者の派遣	指導者の派遣	実績	指導者を派遣した	指導者を派遣した	指導者を派遣した	④学校等における出前講座の実施及び講座等の実施を担う講師の養成	目標	出前講座の実施及び講師の養成	出前講座の実施及び講師の養成	出前講座の実施及び講師の養成	実績	出前講座及び講師の養成を行った	出前講座及び講師の養成を行った	出前講座及び講師の養成を行った	⑤第7回世界のウチナーンチュ大会の開催 プロモーション活動の実施	目標	-	-	-	実績	-	-	プロモーション活動の実施	進捗状況説明 本事業では、10月30日「世界のウチナーンチュの日」を中心に、県独自、または市町村と連携して県内での関連するイベントを開催した。 ①世界で活躍するウチナーンチュによるトークイベントを12月15日に開催した。 ②①とあわせて広報活動をイベント前に集中的に行った。 ③海外県人会が主催するイベントへの芸能指導者派遣については、コロナ禍のため、オンラインによりカナダ、ポリビアに芸能指導を実施した。加えて、海外県人会の取組・成果や沖縄への思いを紹介するライブ配信イベントを10月1日に開催した。 ④出前講座については、小中学校に加えて、指導者育成も実施した。 ⑤FacebookやTwitterなどのSNSを活用し、日本語、英語、スペイン語、ポルトガル語の4言語で周知広報を行った。						
R4活動目標(指標)	進捗状況																																																													
	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度																																																										
①世界で活躍するウチナーンチュのライフワークや貴重な経験を学ぶことのできる若者向けのシンポジウムの開催	目標	シンポジウムの開催	シンポジウムの開催	シンポジウムの開催																																																										
	実績	シンポジウムを開催した	シンポジウムを開催した	シンポジウムを開催した																																																										
②各種広報媒体を活用した「世界のウチナーンチュの日」の広報活動の実施	目標	広報活動の実施	広報活動の実施	広報活動の実施																																																										
	実績	広報活動を実施した	広報活動を実施した	広報活動を実施した																																																										
③「世界のウチナーンチュの日」に関連して海外県人会が主催するイベントに、沖縄からの芸能指導者を派遣する。	目標	指導者の派遣	指導者の派遣	指導者の派遣																																																										
	実績	指導者を派遣した	指導者を派遣した	指導者を派遣した																																																										
④学校等における出前講座の実施及び講座等の実施を担う講師の養成	目標	出前講座の実施及び講師の養成	出前講座の実施及び講師の養成	出前講座の実施及び講師の養成																																																										
	実績	出前講座及び講師の養成を行った	出前講座及び講師の養成を行った	出前講座及び講師の養成を行った																																																										
⑤第7回世界のウチナーンチュ大会の開催 プロモーション活動の実施	目標	-	-	-																																																										
	実績	-	-	プロモーション活動の実施																																																										

R4成果目標(指標)		基準値 (〇〇年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 (〇〇年度)
		①来場者に対し、世界各地に存在するウチナーンチュへの興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートにより検証する。	目標		80%	80%
	実績		100%	100%	99%	
②「世界のウチナーンチュの日」県民認知度	目標		60%	60%	60%	
	実績		40%	44.7%	44%	
②-1 県人会等との新たな取組数(県以外の主体による取組)	目標		海外5(累計37)、 県内10(累計54)	海外3(累計40)、 県内0(累計50)	-	
	実績		海外5(累計37)、 県内6(累計50)	海外3(累計40)、 県内3(累計53)	-	
③派遣先の県人会における沖縄の文化芸能に対する興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートにより検証する。	目標		80%	80%	80%	
	実績		-	80%	100%	
④受講者に対し、沖縄の移民の歴史、世界各地の県系人について理解が深まったか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートにより検証する。	目標		80%	80%	500人以上、80%	
	実績		100%	100%	2,113人、100%	
⑤第7回世界のウチナーンチュ大会の参加人数	目標		-	-	・海外参加者 7,400人 ・国内参加者 600人	
	実績		-	-	・海外参加者 1,790人 ・国内参加者 1,903人	
達成状況説明	<p>①は、アンケートの結果、99%が世界のウチナーンチュの日に関する関心が高まったとの回答し、目標を達成した。</p> <p>②は、アンケートの結果、世界のウチナーンチュの日の認知度が44%となり、目標を下回った。</p> <p>③は、アンケートの結果、100%が沖縄の文化芸能に対する興味・関心が高まったと回答しており、目標を達成した。</p> <p>④は、アンケートの結果、100%が移民の歴史等に対して理解が深まったと回答しており、目標を達成した。</p> <p>⑤は、コロナ禍の影響で、海外参加者数は1,790人となり目標を下回った。一方、国内参加者は、1,903人となり目標を上回った。加えて、オンライン参加者は214,390人となった。</p>					

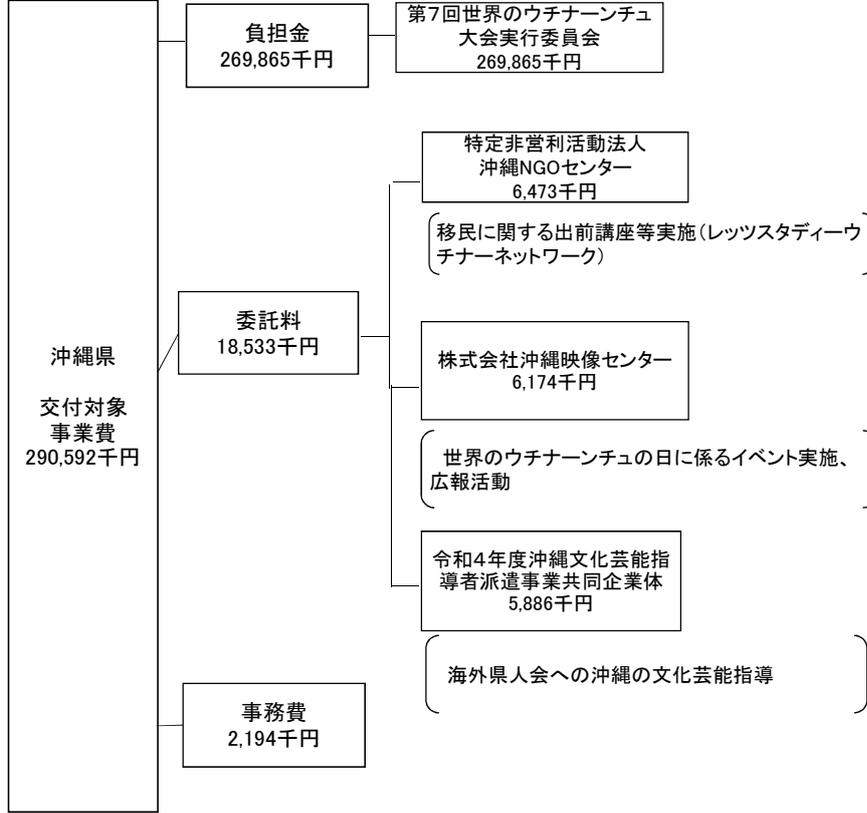
R4-No.168

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・「世界のウチナーンチュの日の認知度」が目標値を下回っている状況が続いているため、特に認知度が低い30代をターゲットにした取組を強化する必要がある。</p>	<p>・世界のウチナーンチュの日前後に市町村や他の団体が実施するイベントと連携した情報発信を行う。また、世界のウチナーンチュの日の広報については、10月30日前後のみならず、通年を通じた取組を検討する。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・世界のウチナーンチュの日やその背景を知ってもらい、ウチナーネットワークの更なる拡大を目指すため、国内外から気軽に参加しやすいイベントを検討する。</p> <p>・令和4年度に開催された第7回世界のウチナーンチュ大会の成果を踏まえ、継続的な情報発信を行うとともに、特に10月30日前後は周知広報に力を入れる。</p> <p>・トークイベントのゲスト選定の際は、30代女性がターゲットであることを意識して選定する。</p>		

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
290,592	290,592	232,473	58,119	0	0	0



資金の 使途の 流れ、 費目、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘察した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目、使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(県分)検証シート【公表用】

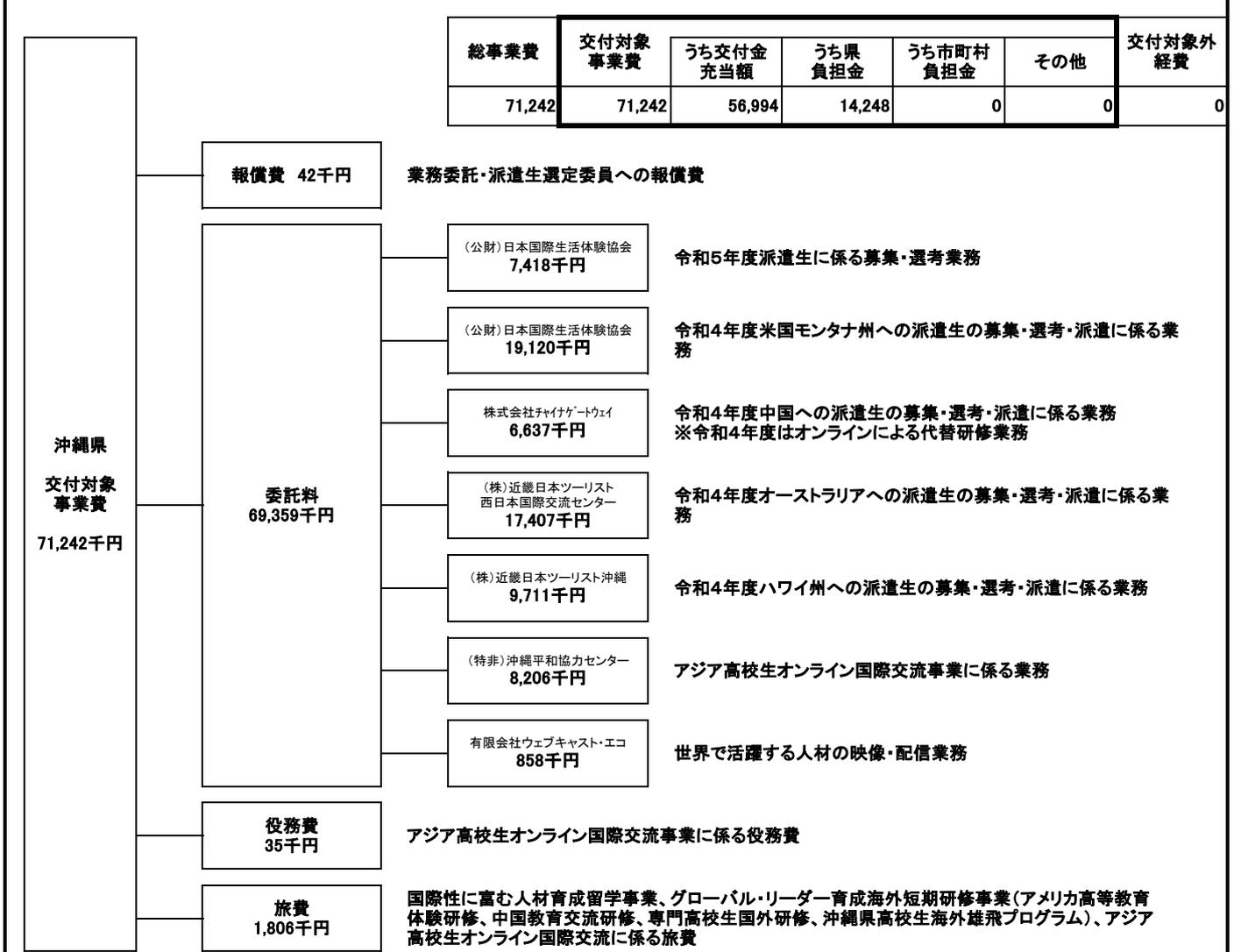
事業番号・事業名	181	国際性に富む人材育成事業		新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-4-(2)-ア-②		
	担当部署名	教育庁県立学校教育課	事業実施 (予定)年度	H24 ~ R13 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	交流の架け橋となる人づくり Ⅲ-3-(1)	
事業内容	世界の多様な地域への長期海外留学、交流先や目的について焦点化した短期海外研修、ICTを活用した海外生徒とのオンライン国際交流、県内で活躍するグローバル人材を紹介する映像配信事業を実施し、高い専門性を備えた世界で活躍するグローバル人材の育成及び多文化共生型社会の基盤づくりを図る。 ・長期海外留学R5年度派遣生の選考及び事前研修の実施 ・短期海外研修の実施 ・アジア高校生オンライン国際交流プログラム ・世界とお仕事プログラム(映像制作・配信)						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】		R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	131,079		132,975		76,384
		(b)予算現額	0		132,975		76,384
		(c)増減額(b-a)	▲ 131,079	0	0	0	0
		(d)前年度繰越額	0				0
		A. 計(b+d)	0	0	132,975	0	76,384
	B. 執行済額		0		76,415		71,242
	うち交付金充当額		0		61,132		56,994
	C. 次年度繰越額		0		0	0	0
	執行率(%) (B/A)		#DIV/0!	#DIV/0!	57.5%	#DIV/0!	93.3%
予算の状況の説明		R3年度の「グローバル・リーダー育成海外短期研修事業」を前身とし、R4年度より「国際性に富む人材育成事業」。執行率は93.3%であり、主に委託料の執行残が発生したことによるものである。					
活動目標 (指標) 及び進捗状況	R4活動目標(指標)		進捗状況				
				R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	沖縄県高校生の海外派遣者数 ・短期海外研修 (R3、4は代替研修参加者を含む)		目標	214人	214人	214人	80人
			実績	144人	-	206人	79人
	高校生オンライン国際交流参加者数 ・沖縄県高校生		目標	-	-	-	100人
			実績	-	-	-	86人
	高校生オンライン国際交流参加者数 ・海外高校生		目標	-	-	-	100人
			実績	-	-	-	73人
	映像制作・配信(全県立高校に配信)		目標	-	-	-	59校
			実績	-	-	-	59校
進捗状況説明	・グローバルリーダー育成海外短期研修事業では、①アメリカ高等教育体験研修で高校生20名、②専門高校生国外研修で高校生24名、③海外雄飛プログラムで高校生15名を派遣。④中国教育交流研修のみオンライン交流を実施。 長期留学に関しては令和5年度派遣生20名を選考。 ・アジア高校生オンライン国際交流事業では、沖縄県内高校生86名(プロジェクト47名、講義・ワークショップ参加39名)と海外高校生73名が事業に参加。 ・世界とお仕事プログラムでは、映像制作し、令和5年3月より令和6年3月まで映像配信を行っている。						
成果目標 (指標) 及び達成状況	R4成果目標(指標)		基準値 (〇〇年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 (R〇年度)
	短期海外研修参加者のCEFR B1到達率		目標	-	-	50%	-
			実績	-	-	-	-
	オンライン国際交流参加者のCEFR B1到達率		目標	-	-	50%	-
			実績	-	-	-	-
	映像配信受講者のCEFR B1到達率		目標	-	-	46%	-
			実績	-	-	-	-
	達成状況説明	・各事業の実施後に必ずしもCEFRに基づいた検定の受験に結びつかなかったことから、事業の成果としてCEFR到達率を計測することは困難であった。 なお、国際性に富む人材育成事業の成果としては、コロナ禍でのオンライン形式による事業実施から、中国教育交流研修を除き、当初計画に基づいて生徒派遣を達成したことが挙げられる。 ・アジア高校生オンライン国際交流については、沖縄県高校生86名、アジア高校生73名が事業に参加し、プロジェクト活動や講義・ワークショップに参加した。 ・世界とお仕事プログラムについては、県立高等学校59校に映像を現在配信中である。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
<p>取組の検証</p> <p>【グローバル・リーダー育成海外短期研修】 ①現地研修において積極的に研修へ取り組む意欲を育むため、事前研修ではコミュニケーションツールとしての語学力を身につける研修や異文化理解について学ばせる必要がある。 ②研修先において現地大学での講義やホームステイ先でのコミュニケーション等を考え、語学力の高い生徒や積極性のある生徒を選考する必要がある。 ③新たに委託される業者が、前年同様に選考試験、事前事後研修、本研修に係る業務、現地での緊急対応、精算業務を円滑に行えるよう、連絡調整を密に行う必要がある。 【アジア高校生オンライン国際交流】 ①事業への参加も生徒の任意に任されており、強制力が弱く、奨学金のように目に見える形の恩恵がないため、参加生徒の動機もバラバラである。②新型コロナウイルス感染症の影響も弱まり、対面型の留学や交流を希望する生徒が多くなる中で、事業運営に工夫が必要である。 【成果目標】 各取組の成果指標としてCEFRの到達率を設定していたが、全ての参加者をCEFRベースで測定することが難しく、取組の効果を検証するうえでそぐわない場合もあるといったことが判明した。</p>	<p>【グローバル・リーダー育成海外短期研修】 ①事前研修等において現地研修先講師を活用した語学研修の充実や異文化理解について前年度派遣生や留学生等による体験談から生活習慣の違いなどを学ばせる必要がある。 ②実践的なコミュニケーション能力を測るため、英語試験や面接試験において語学力、積極性を測る選考試験を実施する必要がある。 ③委託業務の円滑な実施や、外務省および大使館等からの海外渡航情報入手が迅速に行えるよう、委託業者や現地事務所等との連携を図る。 【アジア高校生オンライン国際交流】 ①参加する生徒に対するメリットの明確化と、オンラインの意義を浸透するための取組が必要である。 ②短期留学、長期留学に繋がる身近な留学制度と捉え、参加生徒に対する動機付けを県立学校の行事と関連付けながら視野を広げていく。 【成果目標】 各取組の実情に則した適切な成果目標の設定を検討する必要がある。</p>

今後の取り組み方針

【グローバル・リーダー育成海外短期研修】
 ①現地研修をより深い学びへと繋げるため、ホームステイや学校生活を想定した英語運用能力をより高める研修や異文化理解についての事前研修の実施。
 ②実践的な外国語コミュニケーション能力を測る英語試験や面接試験内容の構築。
 ③受託業者と現地での緊急時を含めた対応・体制について、綿密な報告・連絡・相談を行う。
 【アジア高校生オンライン国際交流】
 ①アジア参加国を5カ国から7カ国に拡充し、参加生徒の募集も沖縄県高校生200名、海外高校生200名に増員する予定。
 ②JICAや沖縄コンベンションビューローといった外部団体の有効活用及び連携の模索を行う。
 【成果目標】
 各取組の実情に則した適切な成果目標を検討したうえで、R5年度より、新たな指標による実効性のある事業評価を行う。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

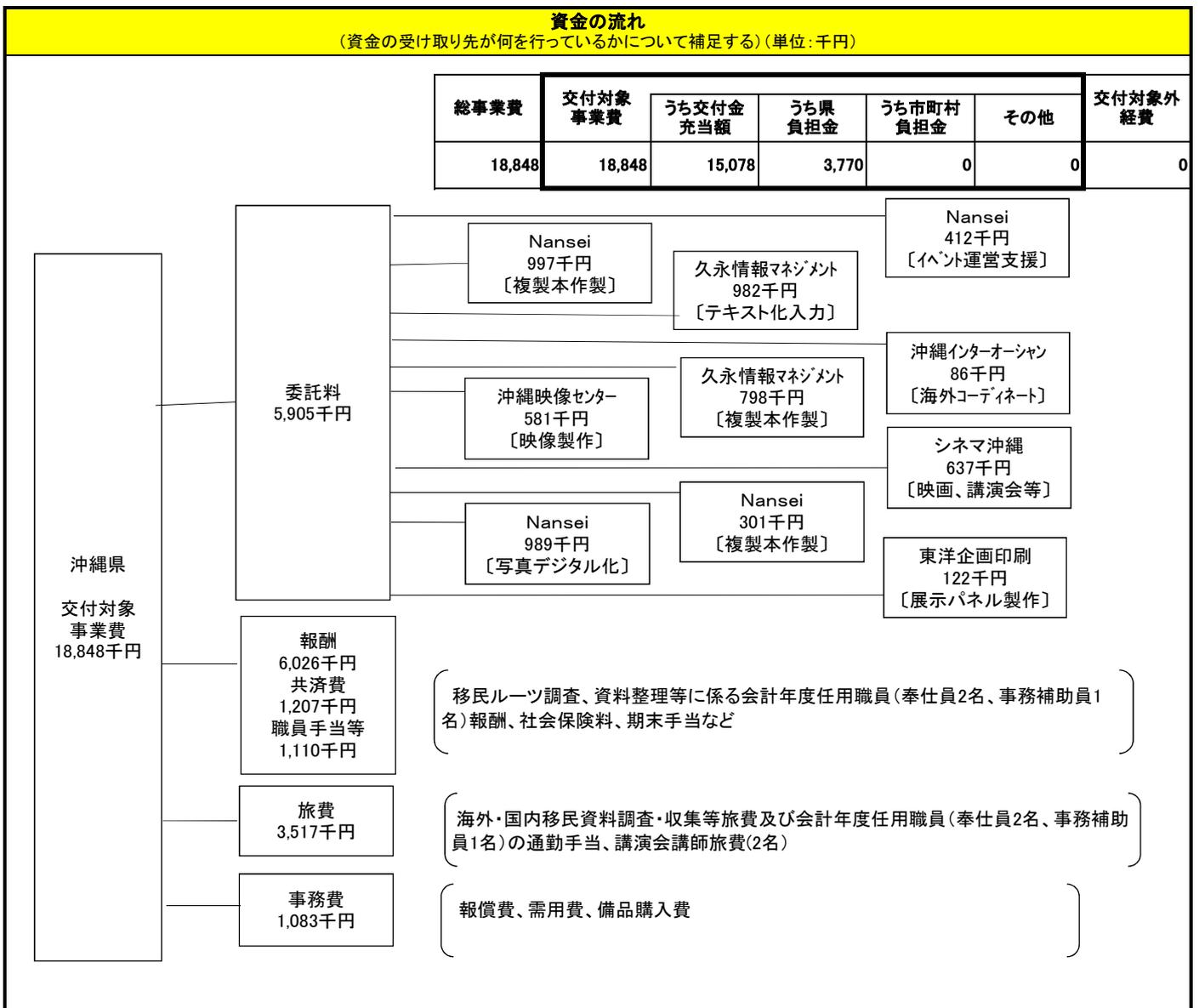


資金の流し、点検項目	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流し、点検項目	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(県分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	186 「琉球・沖縄の知と心」国際発信事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-4-(2)-ア-①				
担当部署名	教育委員会生涯学習振興課	事業実施(予定)年度	H31 ~ R13 年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国内外のウチナーンチュとの絶え間ない交流 Ⅲ-7	
事業内容	県立図書館が、世界のウチナーンチュネットワークの継承と発展を図るため、海外・国内での移民関係資料収集、移民ルーツ調査を実施する。また、郷土資料企画展、展示関連講演会を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】		R2年度	R1年度(繰越)	R3年度	R2年度(繰越)	R4年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	17,588	-	18,590	-	20,629
		(b)予算現額	17,588	-	18,590	-	20,629
		(c)増減額(b-a)	0	-	0	-	0
		(d)前年度繰越額	0	-	0	-	0
		A. 計(b+d)	17,588	-	18,590	-	20,629
	B. 執行済額		16,300	-	17,647	-	18,848
	うち交付金充当額		13,039	-	14,118	-	15,079
	C. 次年度繰越額		0	-	0	-	0
	執行率(%) (B/A)		92.7%	-	94.9%	-	91.4%
予算の状況の説明		沖縄県独自の歴史・文化を継承し、国際的に発信するために、県系移民資料の収集、ルーツ調査の実施等に要する経費として、委託料、報酬等を計上した。執行率は、91.4%であり、主に委託料、旅費(会計年度任用職員通勤手当)等の執行残が発生したことによるものである。					
活動目標(指標)及び進捗状況	R4活動目標(指標)		進捗状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	移民ルーツ調査の実施	目標	300件	300件	50件	150件	
		実績	451件	42件	61件	513件	
	移民資料収集実施地域(R3まで移民資料の収集点数)	目標	450点	400点	100点	1地域	
		実績	458点	308点	151点	1地域	
	沖縄の歴史・文化関連講演会の実施	目標	12回	6回	2回	2回	
		実績	4回	4回	2回	2回	
	沖縄の歴史・文化関連郷土資料企画展示の実施	目標	18回	42回	36回	2回	
		実績	40回	40回	49回	3回	
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・移民ルーツ調査については、令和4年10月に第7回世界のウチナーンチュ大会が開催され、多くの移民ルーツ調査依頼を受付、目標を多く上回った。 ・移民資料収集実施地域については、ブラジル・カンボグランデ市で資料収集を行った。 ・沖縄の歴史・文化関連講演会については、目標通り2回開催した。 ・沖縄の歴史・文化関連郷土資料企画展示については、目標を上回り3回開催した。 						
成果目標(指標)及び達成状況	R4成果目標(指標)		基準値(〇〇年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(〇〇年度)
	移民等沖縄の歴史・文化の継承【国内向け】 館内展示・講演会参加者・オンライン展示の閲覧者総アクセス数	目標	-	80%	80%	3,000人	-
		実績	-	94%	98%	13,852人	-
	移民等沖縄の歴史・文化の継承【海外向け】 講演会オンライン参加者・オンライン展示の閲覧者総アクセス数	目標	-	80%	80%	100人	-
		実績	-	94%	100%	4,759人	-
	達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標である「館内展示・講演会参加者・オンライン展示の閲覧者総アクセス数」については、渡航記録データベースの閲覧者数が国内・海外とも大きく増加し、目標を達成した。 ・令和3年度までは、沖縄の歴史・文化への理解度等についてのアンケートによる検証だった。 					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・成果目標である「館内展示・講演会参加者・オンライン展示の閲覧者総アクセス数」については、令和4年7月に沖縄県系移民渡航記録データベースを公開し、令和4年10月の第7回世界のウチナーンチュ大会の開催により注目を浴びたため、目標を大きく上回った。</p>	<p>沖縄県系移民渡航記録データベースは、1937年の渡航記録まで検索できるが、1944年まで検索できるよう充実を図る。</p>
今後の取り組み方針		
<p>令和5年度は、沖縄県系移民渡航記録データベースのアクセス数を向上を図るため、海外県人会等へ広報を充実を図る。</p>		

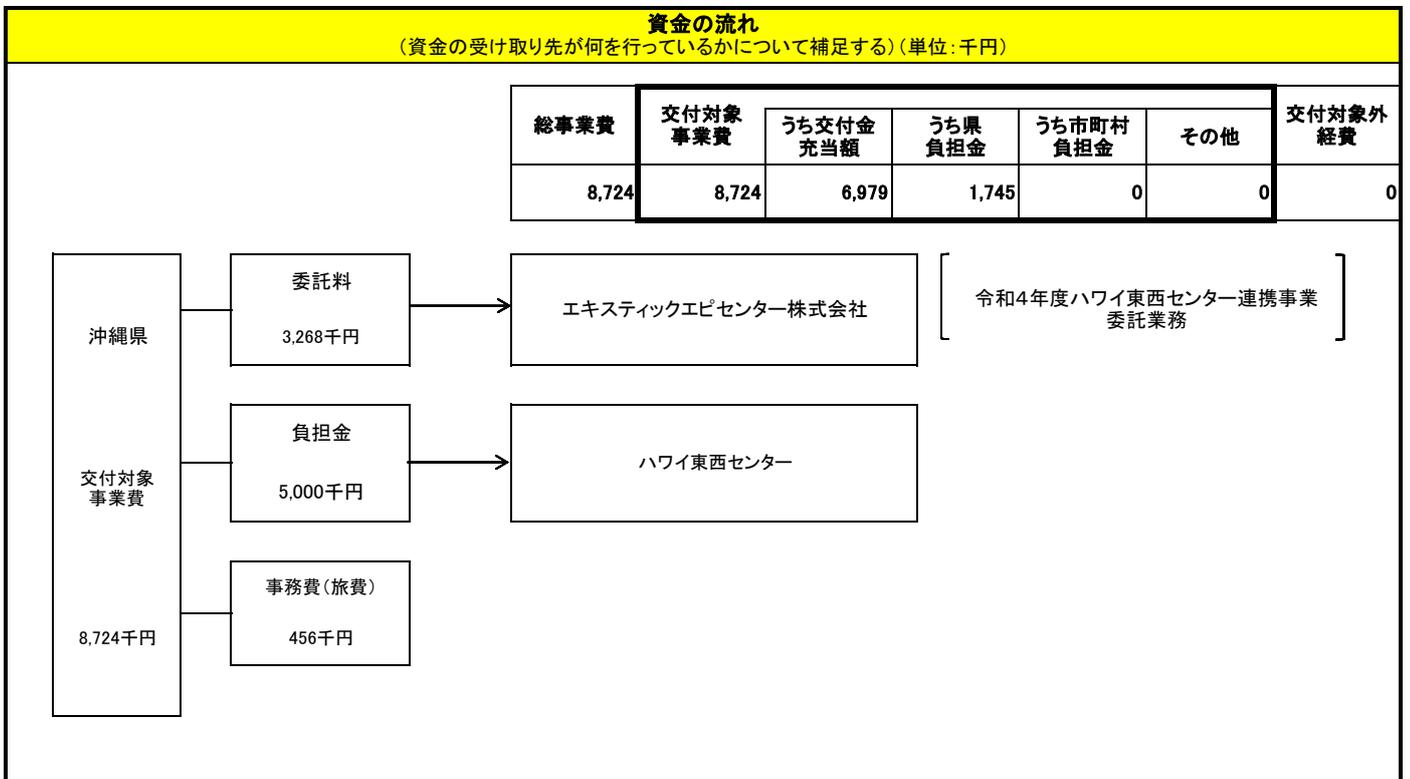


資金の流れの点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託事業者は、県財務規則に基づき相見積もり等によって選定したため、妥当であったと考える。</p> <p>○費用、用途については、事業報告書等进行检查し、適正であることを確認した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(県分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	7	ハワイ東西センター連携事業	新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所		第4章-4-(2)-ウ-①		
担当部課名	企画部科学技術振興課	事業実施(予定)年度	H26 ~ R13 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	観光交流、経済交流等の推進 III-7		
事業内容	グローバル化の進展や多様化・複雑化する社会ニーズに対応できる国際的な視野を持った人材を育成するとともに、アジア太平洋諸国とのネットワーク形成を図るため県内社会人等をハワイ東西センター及びハワイ大学大学院へ4名程度派遣する。また、同プログラムの周知広報を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】		R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	8,470		8,280		8,783
		(b)予算現額	8,470		8,280		8,783
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d)前年度繰越額	0		0		0
		A. 計(b+d)	8,470	0	8,280	0	8,783
	B. 執行済額		7,980		7,790		8,724
	うち交付金充当額		6,384		6,232		6,979
	C. 次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		94.2%	#DIV/0!	94.1%	#DIV/0!	99.3%
予算の状況の説明		・執行率は99.3%であり、概ね計画的に執行できた。 ・この事業について、H29までは別の沖縄振興特別推進交付金事業の細事業として実施。					
活動目標(指標)及び進捗状況	R4活動目標(指標)		進捗状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	①小渚沖縄教育研究プログラムの周知広報・説明会の開催 ②説明会等参加人数 ③小渚沖縄教育研究プログラム応募人数	目標	-	-	-	①3回以上 ②50人以上 ③5人以上	
		実績	-	-	-	①10回 ②105名 ③5名	
	【R2~R3の活動目標】 社会人等をハワイ東西センターへ4名派遣	目標	-	4名派遣	4名派遣	-	
		実績	-	3名派遣	3名派遣	-	
	【R1以前の活動目標】 社会人等をハワイ東西センターへ2名派遣	目標	2名派遣	-	-	-	
		実績	3名派遣	-	-	-	
進捗状況説明	R4年度は、小渚教育研究プログラムの説明会を10回開催し、参加人数総計は105名であった。(一般説明会2回、県内大学内説明会6回、オンライン説明会2回) また、同プログラムへの応募者が5名であったため、①~③の全ての目標を達成した。						
成果目標(指標)及び達成状況	R4成果目標(指標)		基準値(H25年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(R5年度)
	修士課程修了(取得)者	目標	-	-	-	1名	1名
		実績	-	-	-	0名	-
	【R3成果目標】 ①ハワイ東西センターへの派遣 延14名(うち延10名をハワイ大大学院へ派遣) ※H26年度以降からの延数 ②過去派遣者に対しアンケート調査:本事業で構築した人的ネットワークが現在も継続している80%以上	目標	-	-	①延14名派遣(うちハワイ大学大学院10名) ②80%以上	-	-
		実績	-	-	①延13名派遣(うちハワイ大学大学院10名) ②100%	-	-
	【R2成果目標】 ハワイ東西センターへの派遣 延69名(うち延33名をハワイ大大学院へ派遣)	目標	-	延69名派遣(うちハワイ大学大学院33名)	-	-	-
		実績	-	延69名派遣(うちハワイ大学大学院34名)	-	-	-
	達成状況説明	派遣者が進路を変更したことにより、目標を達成することができなかった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・ハワイ東西センターへ、ドル建てで支出している負担金(小淵沖縄教育研究プログラムの運営費)が、円安やインフレ等の影響により大幅に変動する。</p> <p>・昨今の円安と米国内でのインフレの影響により、個人で留学する場合は莫大な資金が必要となることから、本県における留学へのマインドが低下が懸念され、ひいては同プログラムの応募者も減る可能性がある。</p>	<p>・今後も、円安やインフレ等の世界情勢を注視しつつ、同プログラムを長期的かつ安定的に運営していく。</p> <p>・大学院留学等を希望する高い意識を持った本県の学生や社会人等が費用を理由に留学を諦めることがないよう、県内企業及び県内大学、県外大学に在籍している沖縄県民に向けた広報に引き続き取り組む。</p> <p>・また、今後は、大学卒業後のキャリアプランとして同プログラムを活用した留学という選択肢があることを早い段階で幅広く周知するために、高校生等若い世代に対する広報にも積極的に取り組む。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・「小淵沖縄教育研究プログラム」について、県内外の大学生及び社会人を対象とした説明会の開催、並びに高校生以上を対象とした留学への興味・関心を高めるイベント等の実施のほか、オンラインを活用した広報の実施等、同プログラム内容の効果的な周知広報の強化に努め、将来の本県を支える人材を長期的かつ安定的に育成する。</p>		



資金の流 れ、費 用 目 録 の 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託業者は、公募によるプロポーザル形式にて提案内容、業務体制、予算規模などを総合的に勘案して選定しており、妥当であると認められる。</p> <p>○費用、用途については、金額の確定時に検査を行い、適正であると認められた。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(県分)検証シート【公表用】

事業番号 ・事業名	16	沖縄・奄美連携交流促進事業	新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所		第4章-4-(2)-ウ-②		
			沖縄振興基本方針 該当箇所		沖縄の文化を通じた交流		
担当部署名	企画部地域・離島課	事業実施 (予定)年度	H28 ~ R13 年度		Ⅲ-9-(1)		
事業内容	沖縄-奄美群島間において、両地域の交流を更に促進し、世界自然遺産登録の候補地として一体的に評価されていることを契機とした、両地域間の移動しやすい環境を構築するため、航空路4路線及び航路8路線の運賃低減を支援する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・ 執行額 【単位:千円】		R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	85,562		78,359		74,203
		(b)予算現額	85,562		52,918		64,167
		(c)増減額(b-a)	0	0	▲ 25,441	0	▲ 10,036
		(d)前年度繰越額	0		0		0
		A. 計(b+d)	85,562	0	52,918	0	64,167
	B. 執行済額		34,964		40,367		60,659
	うち交付金充当額		27,971		32,293		48,527
	C. 次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		40.9%	#DIV/0!	76.3%	#DIV/0!	94.5%
予算の状況の説明		・コロナ禍による移動自粛等の影響により、当初見込みを下回ったため、10,036千円の減額補正を行った。 ・執行率は94.5%であり、負担金の執行残が発生したことによるものである。					
活動目標 (指 標) 及び 進捗状況	R4活動目標(指標)		進捗状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	運賃を低減した路線における利用者数 航空路 19,000人	目標	30,500人	30,500人	19,000人	19,000人	
		実績	21,396人	10,259人	14,668人	20,227人	
	運賃を低減した路線における利用者数 航路 51,000人	目標	70,400人	70,400人	51,000人	51,000人	
		実績	52,177人	17,050人	23,579人	38,808人	
進捗 状 況 説 明	・航空路は那覇と奄美群島を結ぶ4路線、航路においては那覇・本部から奄美群島を結ぶ8航路で事業を実施し運賃低減を実現した。 ・令和4年度における低減した運賃の利用者数は、航空路は20,227人(対目標106.4%)と目標を達成したものの、航路は38,808人(対目標76.0%)と目標を達成することができなかった。						
成果目標 (指 標) 及び 達成状況	R4成果目標(指標)		基準値 (H26年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 (〇〇年度)
	両地域間を旅行(移動)したすべての旅客者数(住 民を含めた交流人口) 航空路及び航路 136,350人	目標	98,623人	138,600人	141,800人	136,350人	-
		実績	-	57,709人	73,385人	111,410人	-
	達 成 状 況 説 明	・航空路及び航路において、住民を含めた両地域間を旅行(移動)したすべての旅客者数(交流人口)は、本事業開始後、順調に増加していたものの、令和4年度の実績は、コロナ禍による移動自粛等の影響により111,410人となり、目標の136,350人を下回った。					

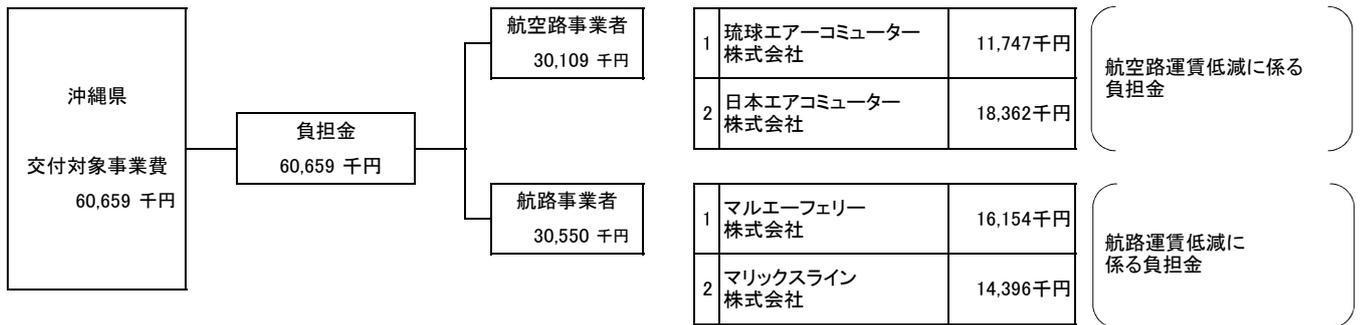
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>①令和2年度実態調査では、本事業による運賃低減により利用者の負担軽減、消費拡大、リピーター増加等の効果が確認された。</p> <p>②コロナ禍の影響等による旅行者数の減少も踏まえつつ、令和3年7月に「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」が世界自然遺産に登録されたことにより、国内外の関心を集めることが予想される。</p> <p>③沖縄の復帰50周年を新たな契機とし、更なる連携・交流促進を図るため、両地域の自然や観光等にPR等を鹿児島県と連携して実施する。</p>	<p>①②③コロナ禍においても引き続き本事業により沖縄－奄美間の移動しやすい環境を確保するとともに、世界自然遺産登録や沖縄の復帰50周年を契機とした交流を促進するため、関係者との協力体制のもと、本事業を周知する必要がある。</p>

今後の取り組み方針

①②③世界自然遺産登録に加え、奄美の復帰70周年を新たな契機とし、更なる連携・交流促進を図るため、両地域の自然や観光等にPR等を鹿児島県と連携して実施する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
60,659	60,659	48,527	12,132	0	0	0



資金の流 れ、費 用目 的 の 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○負担金について、事業者に対し、運賃低減に係る減収分を適正に交付した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(県分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	187	高校生伝統芸能分野海外就業体験事業	新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-4-(2)-ウ-②				
担当部課名	教育庁文化財課	事業実施(予定)年度	H24 ~ R13 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	沖縄の文化を通じた交流			
事業内容	郷土芸能に取り組んでいる高校生をハワイへ派遣し、伝統芸能を活かした観光産業や歴史的・文化的施設での就業体験をとおして職業理解を深める。また、現地高校生との伝統芸能交流や現地県人会との交流を通してネットワークをつくる。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】			R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	131,079		132,975	-	18,215	
		(b)予算現額	0		132,975	-	18,215	
		(c)増減額(b-a)	▲ 131,079		0	-	0	
		(d)前年度繰越額	0		0	-	0	
		A. 計(b+d)	0		132,975	-	18,215	
		B. 執行済額		0		76,415	-	17,979
		うち交付金充当額		0		61,132	-	14,383
		C. 次年度繰越額		0		0	-	0
		執行率(%) (B/A)		0.0%		57.5%	-	98.7%
	予算の状況の説明		・執行率は98.7%であり、概ね計画的に執行できた。					
活動目標(指標)及び進捗状況	R4活動目標(指標)			進捗状況				
				R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	沖縄県高校生芸術文化国際交流事業派遣人数			目標	-	-	-	
				実績	-	-	16名	
進捗状況説明	ワクチン接種やPCR検査での陰性結果をもって16名をハワイへ派遣した。(そのうち1名は研修途中で離団)							
成果目標(指標)及び達成状況	R4成果目標(指標)			基準値(H24年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(R5年度)
	帰国後、生徒が伝統芸能分野、国際的分野及び教育分野に進路を希望するか(60%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートにより検証する。			目標	-	-	-	60%
				実績	-	-	-	93.8%
	【R5成果目標】卒業後、生徒が郷土芸能分野、国際的分野及び教育分野に就職を希望したか(60%以上)			目標	-	-	-	60%
	達成状況説明	アンケートの「帰国後、国際的な視野がより広まったか」という質問に対し、93.8%(16名中15名。1名は無回答)が「はい」と回答しており、目標を達成した。						

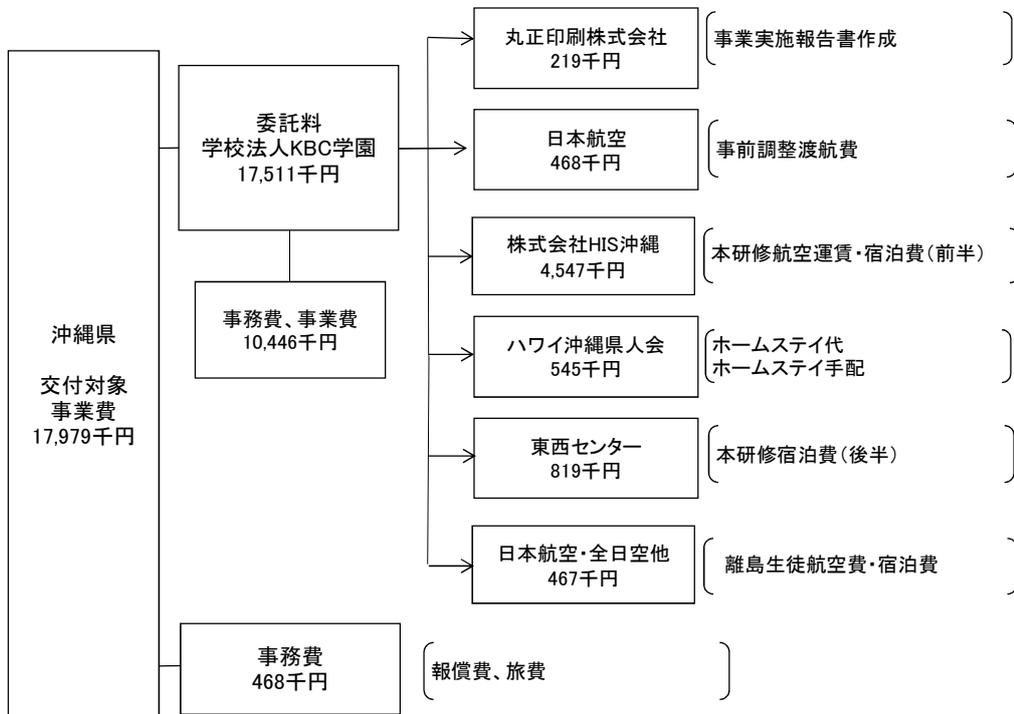
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	1. 現地での交流等をより高いレベルで推進するため、事前研修ではコミュニケーションツールとしての語学力を身につける語学研修や積極性を高める取り組みが必要となる。 2. 研修先において現地大学等での講義や交流校でのコミュニケーション等を考え、語学力の高い生徒や積極性のある生徒を選考する必要がある。 3. 新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、渡航中止や延期となることを鑑み、世界各地での治安および健康上の問題に留意する必要がある。	1. 事前研修等において、外国語講師を活用した語学や異文化理解に関する研修内容を実施し、外国語で意見交換できるコミュニケーション能力を育成する必要がある。 2. 実践的な外国語のコミュニケーション能力を測るため、面接試験において語学力、積極性を測る選考試験を実施する必要がある。 3. 外務省および大使館等からの海外渡航情報等を迅速に入手し、委託業者や現地研修先等との綿密な連携を図る。

今後の取り組み方針

1. 現地研修をより深い学びへと繋げるため、語学力をより高める研修や観光産業としての伝統芸能についての事前研修を実施。
2. 選考基準に英語検定(準2級以上)を付す。
3. テロや感染症等の最新情報を外務省および大使館等から常に入手し、受託業者と現地での緊急時を含めた対応・体制について、綿密な報告・連絡・相談を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額				交付対象外経費
		うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	
17,979	17,979	14,383	3,596	0	0	0



資金の用途の点検・費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
○		支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、企画提案プロポーザルで事業の内容によって選定したため、妥当であったと考える。 ○予算規模は適正であるが円安や燃料サーチャージの高騰が続くと見直しが必要となる。
○		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
○		受益者との負担関係は妥当であるか。	
○		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	